日本篆刻家協会会報

第3号　平成21年8月31日発行
発行：日本篆刻家協会
563-0032 池田市石橋2-2-10-203
TEL 072-760-3852
FAX072-760-3853

新しい協会の歴史に向けて

― 盛大に挙行された創立 25 周年記念セレモニー ―

日本篆刻家協会創立 25 周年記念セレモニーが、新型インフルエンザの関西流行により開催が危惧されたなか、5 月 24 日ホテル大阪ベイタワーにおいて、多数の来賓と会員の計 330 人が参加し盛大に挙行された。

25 周年祝賀懇親会会場ホテル大阪ベイタワー 4 階ベイタワーホールは 330 人の参加者であふれる

セレモニーは第二十五回日本篆刻展授賞式に引続き開催された。最初に山下理事長が挨拶し、協会創立からの沿革を説明、創立二十五周年記念事業の紹介と今後への展望を熱く語った。創立二十五周年を振り返るスライドが映写された。来賓紹介後、来賓を代表して京都大学人文科学研究所講師大野修作氏、芸術新聞社社長相澤正夫氏の二人が祝辞を述べた。

記念表彰に移り、二十五年継続の会員八十三人の代表として邊見仿厓常務理事に山下理事長から二十五年表彰が贈られた。八十歳以上で十年以上継続の会員九十七人の代表大柳東里理事に尾崎副理事長から八〇歳以上の会員表彰が贈られた。二十五周年記念品として記念出版された「日中名家刻印選」が全会員に贈呈されることとなり、井谷副理事長から代表東尾高岳評議員に手渡された。

毎日書道会評議員遠藤彊氏の音頭により乾杯し祝賀懇親の宴が始められた。会場のそこここに歓談の輪ができ交流を深めるとともに、歴史を振り返り今後の篆刻のさらなる伸展を誓い合っていた。盛り上がった雰囲気の中、時間となり井谷副理事長の閉会のことばで宴は終了した。

80 歳表彰記念品を受ける大柳理事

25 年継続会員表彰記念品を受ける邊見常務理事

協会は、梅舒適先生の主宰する篆社を母体とし、一九八五年「篆社全国展」の名称で日本国内唯一の篆刻のみの公募展として展覧会活動を開始した。二回の篆社全国展の後、日本各地の篆刻家に参加を促し、北海道から沖縄まで全国の篆刻家の参画を得て、組織を日本篆刻家協会と展覧会を「日本篆刻展」と改め、全国的な篆刻団体として新たにスタートした。協会の創立趣旨は、金石学の研究と篆刻芸術の向上普及と振興であり、梅舒適先生の標榜する一党一派に片寄らない自由な創作活動を会の方針に挙げて活動を展開してきた。その結果全国に五十数印社、二千人を越える会員を擁する日本を代表する篆刻団体に成長した。国外にあっては中国各省、直轄市との友好交流展を開催して、ほぼ中国全土の開催可能な省との交流を果たした。その間西泠印社との交流にも努め、前理事長の梅舒適先生が名誉副社長として交流の歴史を重ね、現在は名誉理事に山下方亭他名誉社員六人を数えている。また、中華人民共和国文化部直属の中国唯一の国家級総合的芸術研究機構である中国芸術研究院（王文章院長）に属する中国篆刻芸術院（韓天衡院長）（二〇〇六年六月北京で発足）とも交流を進めている。

初代理事長梅舒適先生の後を受けた山下方亭理事長、尾崎蒼石・井谷五雲両副理事長を中心とする新体制では、四分の一世紀を一つの節目とし重ねた歴史を踏まえつつ新たに取り組む事業を含め、新しい協会の歴史に向けて積極的に事業を展開していくと決意を新たにしている。

第二十五回 日本篆刻展開催

特別展観―「日中名家刻印選」所載の印

第二十五回となる日本篆刻展が五月十九日から二十四日まで大阪天王寺公園内の大阪市立美術館地下展覧会室で開催された。例年の特別展観には、協会創立二十五周年記念事業の一環として会員所蔵の印を集めて出版された「日中名家刻印選」の一部が印材とともに展観された。

総出品点数二千点近くに及ぶ北海道から沖縄県まで各都道府県から参加する篆刻のみの全国公募展は、わが国唯一であり最大規模のもので、日本の篆刻界に少なからず影響を与えてきた展覧会である。

慎重に進められる作品審査のようす

審査

展覧会は年初の募集要項の配付からスタートし、二月二十八日の書類搬入から出品票受付、作品受付・搬入と進み、三月二十七日二十八日の二日間をかけ二十六人の審査員により鑑別・審査が厳密・慎重に行われた。最初に公募作品の鑑審査が行われ九六点に会員推薦賞が贈られることとなった。審査では最高賞の梅舒適賞に評議員として出品の作品から四点が梅舒適賞選考委員（理事長・副理事長）により選ばれたのをはじめ、常任委員の作品から大賞一点・準大賞八点・優秀賞二五点が大賞選考委員（理事長・副理事長・代表理事）により選ばれた。委員の作品から奨励賞七九点、会員の作品から特選七三点、秀作一七三点が入賞作品に選ばれた。

第 25 回日本篆刻展会場内陳列のようす

陳列

五月十八日役員、実行委員により例年の大阪市立美術館地下展覧会室の第三室第四室二室を使い、公募、会員、委員、常任委員、評議員以上の役員の全出品作品が壁面に掛けられた。併せて、協会創立二十五周年記念事業の一環として会員所蔵の印を集めて出版された「日中名家刻印選」の一部が印材とともにガラスケースに収めて特別展観された。

特別展観「日中名家刻印」を食い入るようにみる参観者たち

展覧会

第二十五回日本篆刻展が五月十九日から二十四日まで大阪市立美術館地下展覧会室で開催された。期間中二〇〇〇人が入場する盛会となり、多くの篆刻作品が来場者の目を楽しませた。

授賞式

授賞式は新型インフルエンザの関西流行により一時は開催も危ぶまれたが、五月二十四日、大阪市の大阪ベイタワーで開催され、当初の参加申し込みより少し減った三〇〇余人が参加した。第二十五回展の概要報告・本年度審査員紹介のあと授与に移った。公募の部から会員の部、委員の部と各賞の代表に、寄託賞と常任委員、評議員の部の各賞は各人に山下理事長・尾崎副理事長から賞状・賞品が手渡された。続いて来賓が紹介され、代表して駐大阪中国総領事館李哲領事が祝辞を述べた。最後に受賞者を代表して準大賞受賞者国方得仙氏から謝辞があり授賞式は厳粛な雰囲気のうちに終わった。

山下理事長から奨励賞が一人一人に手渡される

協会創立二十五周年記念セレモニー
出品者懇親会

授賞式に引き続いて出品者懇親会が同所で開催された。本年は当協会が四分の一世紀の節目を迎えることから「日本篆刻家協会創立二十五周年記念セレモニー」を併催するかたちで開催された。授賞式参加者に加え、展覧会等の支援をしている関係企業等の代表者が来賓として加わり計三三〇人が参加した、華やいだ雰囲気の中で進められた。（別掲参照）

遠藤彊毎日書道会評議員のご発声により乾杯

25 周年祝賀懇親会に
参加いただいた主なご来賓

左から
久米雅雄大阪芸術大学講師
大野修作京都大学人文研講師
川村玄舟毎日書道展審査員
遠藤彊毎日書道会評議員
李哲中華人民共和国駐大阪総領事館領事
丁如霞丁鶴廬研究会長
相澤正夫芸術新聞社長
松原清全日本美術社長
の各氏

日本篆刻家協会総会報告

平成二十一年度総会が二月十五日、グリーンヒルホテル明石で開催され二一七人が出席した。

全国から集まった会員による総会

総会に先立って午後一時から第二回理事会が開かれ、総会前の準備確認をはじめ、今後の運営について協議された。

総会に先立ち同所で開催された理事会

午後二時から開催された総会で、山下理事長が議長を務め、平成二十年度事業報告、同決算報告、同会計監査報告、平成二十一年度役員選出、同事業計画案、同予算案がいずれも原案どおり承認決定された。

特に、本年は協会創立二十五周年にあたり、第二十五回日本篆刻展に特別展観として「日中名家刻印」を出陳、その作品集を記念出版する。今回展授賞式では二十五周年記念行事が併催され、記念セレモニーを企画立案中である。

なお、地方展として六月末から約一カ月、役員作品六十数点を古河市立篆刻美術館（茨城県）で展示、海外交流展では十月に中国芸術院篆刻芸術院との交流展（評議員以上）を北京で共催し、訪中団を編成する予定。

第二回中央研究会は、八月八日～十日神戸市垂水区の舞子ビラで行う。昨年は会場の都合で参加制限をしたが、今回は会場を変更したので多くの会員の参加を希望する。

総会に引き続き講演会が開催された。講師は牛丸好一氏「漢代の書」と題し平易な文言で、得難い多くの拓本類を持参し、それらを駆使した熱弁は益するところが大きかった。

総会後の講演会で持参の拓本等を講義する牛丸好一氏

続いて午後四時からの懇親会では、講師とともに全国各地からの参加者が和気藹々と交流を深めた。

一月課題「問梅消息」

役員

董圃

泰道

孝風

禾谿

聽芬

常任委員

龍山

无髯

正歩

恵水

美華

直佑

宗里

立女

瑞邦

実秋

委員

蘇西

希美

一艸

青露

紫泉

早智子

青窓

晋作

悠園

一系

会員

忠義

由紀夫

翠峰

晨空

郁夫

一清

法禅

白葊

清

明子

一般

功勝

梅石

公朗

智子

豊

隆志

博康

碧翠

渓州

顔了

二月課題「唯吾知足」

役員

踏青

塘葭

禾蹤

祥雲

聴芬

常任委員

征

九成

立女

慶石

七郎

芳秀

无爵

名華

武彦

天山

委員

汀華

一系

一艸

和代

紅絲

紫泉

韻嘩

平峰

箕山

斗舟

会員

墨石

八夫

芳泉

青濤

憲石

翠峰

華泉

碧水

邦夫

昇

一般

梅石

功勝

勝山

鈴輪

泰久

公朗

智子

博夫

彌太彦

康生

三月課題「見素抱樸」

役員

董圃

弘深

呉山

満喜

踏青

常任委員

祥雲

正雄

龍神

素月

博石

艸丘

章石

无鬻

紅舟

碧草

委員

竹仙

早知子

叢映

斗舟

秀雄

平峰

一系

桃華

典子

桜泉

会員

石峰

大

啓

恵美子

豊治

芳泉

翠峰

行石

外茂一

憲石

一般

秀雄

顔了

碧翠

石舟

梅石

まち子

菰田

孜黄

修一

恵子

四月課題「與古爲徒」

役員

昌石

塘葭

容庸

翠雨

満喜

常任委員

立女

桂舟

岳風

昇宏

睦苑

拓石

紅舟

芝蘭

九成

翠香

委員

巖映

衣英

早知子

白峰

韻嘩

晋作

平峰

敏子

群蛙

幸

会員

翠峰

克己

芳泉

京子

俊彦

笙山

青濤

忠義

忠義

行石

一般

顔了

勝山

公朗

昭石

功勝

彌太彦

碧翠

修一

恵子

智子

五月課題「得風作笑」

役員

踏青

董圃

久美子

呉山

聽芬

常任委員

正歩

優美子

立女

九郵

芝蘭

泰軒

実秋

慶石

豊

宗里

委員

早知子

邦子

和代

容史子

翔雲

爛

真澄

之然

桂水

晋作

会員

乾石

克己

一清

大

水雲

真波

守

俊正

慎

美久代

一般

勝山

碧翠

功勝

錦風

墨石

瓶田

豊

昭石

正人

康生

六月課題「磊磊落落」

役員

踏青

惠苑

翠女

翠雨

祥雲

常任委員

立女

芝蘭

拓石

九成

青桐

岳風

瑞邦

利一

実秋

優美子

委員

涛峰

竹僊

青露

照楓

瑞峰

翔雲

之然

榮一

美智子

直太

会員

雄山

典恵

郁夫

玉峰

良子

康風

選華

貴美子

澄子

外茂一

一般

顔了

碧翠

泰久

晃治

昭石

彌太彦

智子

幸子

衛

公朗

月例作品出品者１月

役員
○今村菫圃 ○桃井泰道 ○藤田孝風 ○久保田禾翁 ○早川暁芬 田澤翠雨 南輝代 畠穆風 出田塘葭 関踏青 永井龍法 関野羊越 中野桂鵬 山崎一雄 木村容庸 水巻游光 遠藤米之人 松本翠女 保田昌石 渡部芳月 名倉克彦 村田祥鳳 得永春水 原田恵苑 正和杏葉 高嶋満喜 重原祥雲 高野弘深 梶川久美子 田原呉山 串田一逕 稲葉竹葉 石原雲木

常任委員
○榊原龍山 ○國井无髯 ○坂正歩 ○太田恵水 ○杉山美華 ○大槻直佑 ○吉田宗里 ○竹内立女 ○宮本瑞邦 ○大橋実秋 吉田鏡水 多田学友 福本青桐 浅野祥雲 杉本素月 橋本碧峰 富山希祐 桃睦苑 梶村昇宏 寄田龍神 岡田桂舟 松井翠香 稲田一穂 田中壽江 松田泰軒 奈良林丹露 大内隆雲 小林胡蝶 荒崎浄仙 増田繁治 古瀬章石 松田碧草 白尾芳雲 浦本秀洞 丸山蘇碩 丸山沙舟 鈴木城山 河瀬魚仙 秋山名華 篠浦錦風 井本敏子 植田靜雲 樋口桃園 浅良朱華 山本寿法 劔田白峰 庭田露舟 千田耕翠 杉山鎌二 亀尾武彦 宮井紅舟 村井松雨 馬景泉 森川恵扇 國本松峰 内山楽水 今西九郁 葭岡慶石 田中九成 高橋雅子 大庭景雲 武田草露 藤縄尚子 大田豊 尾白正雄 奥島艸丘 石亀明峯 木村誠二 小谷征 倉野看雨 古野燕安 青黄彪 谷口彩雪 瀧七郎 長谷川拓石 矢野亀山 小泉廣津 川西卯水 城下江暉 河野碧龍 亀井芝蘭 芦野優美子 小澤博石 桑木利一 丸田拓川 三次松雲

委員
○藤本蘇西 ○曽原希美 ○若松一艸 ○畑間青露 ○山内紫泉 ○竹村早智子 ○小西青窓 ○森原晋作 ○榊原悠園 ○中西一系 岡上汀華 宇於崎碧峯 服部和代 筒井耕石 笹倉瑞峰 前田正陽 湯浅栄一 宮越素翠 今井朴仙 吉崎雲堂 松本弘碩 高橋玲子 中野桃華 寒谷佐知子 滝口照影 番定静山 田山堅 谷川松雲 羽田野雪里 稲葉桂峰 轆忠夫 上田翔雲 新井碧峰 岡本碧水 茶本仙華 宮野宗雄 田原群蛙 谷幸江 池田翠苑 原田圓代 木村真澄 高岡祥鶴 池田竹華 伊地美保子 堤修次 山本亮子 笹倉柳石 野崎恒夫 濱口韻暉 石川羊碩 安田佳舟 佐野哲舟 岩井映舟 谷啓子 黒石仁 小嶋昌秋 富山蘭翠 小堀蒼洋 平井涛峰 菅白峰 松野久代 永井箕山 川栄玉峯 森田時雄 小倉澤陽 今宮翠暉 安田邦石 荒川紅絲 国島康成 小林啓子 松江周作 宮澤神竹 井本究石 安西幸恵 松嶋翠郁 佐藤幸 荒川光雲 伏原準朗 山田榮山 西山進 堀口秀雄 小野田眞水 西谷桜泉 岩田耕畑 吉田融石 圓栗利之 山口藤華 榊原有光 岡田桂舟 西口叢映 西谷亀石 福島靖浩 藤井徳三 竹田霍山 松永平峰 松本春石 立石見聲 和田恵子 田村稲廬 中野翔龍 熊本信男 福島次郎 竹中朴 伊田香泉 市川桂水 青木鐵生 横手幸雄 中石象堂 森津竹仙

会員
○高橋忠義 ○関由紀夫 ○鈴木翠峰 ○生嶋晨空 ○岡田郁夫 ○矢吹一清 ○平川法禅 ○石原白磬 ○田辺清 ○金井明子 西岡貴美子 村手俊彦 磯村育治 森本翠汀 吉三友 内藤華泉 池谷宝樹 森静二 松山嘉津子 吉原愛璃 青木雄山 森原宏司 内匠俊夫 西峯智永子 中園球恵 前田秋香 櫻野美久代 境山正甫 内木場八夫 宮下英世 畑温子 稲垣竹扇 鈴木誠二 小林邦夫 向畑芳翠 眞壁石峰 木村行石 加藤辰二 安井芳泉 北畑謙一 小幡青濤 中尾恵笙 伊井啓 宮崎外茂一 萩野蒼雲 杉本和子 舟山和雄 伊藤嘉信 山内真波 近藤酔念 馬場龍二 山崎隆平 滋野草翠 川端隆一郎 小嶋瑞碩 高木哲志 中島敬次 永井守 須基康恵 岩崎丹修 佐藤翠龍 田中白瑤 永田乾石 渡曾俊正 長谷山墨石 田中良子 津堅康風 中山孝之 福谷華紅 天海信子 杉村ひふみ 丸田岳僊 粕川真人 田中穂積 前田舫匡 笹井岳峯 桑島龍二 小貫剛 川端春峰 長浜英治 杉山千枝 三原大 間宮慎 藤崎澄子 永井孜黄 植林和夫 酒向誼桂 平中葭舟 境山正甫 鈴木祐輔 小川憲石 駒見華山 堀田敬子 井関碧水 木村笙山 中村紀久 川久保明 堂守唯文 立石雄二 鈴木龍蹊 岡田泰導

一般
○土屋功勝 ○堀梅石 ○石崎公朗 ○板屋智子 ○吉田豊 ○小平隆志 ○伊藤博康 ○國江碧翠 ○石場渓州 ○三井顧了 宮坂蔬田 長谷部石舟 國枝晃治 牛島鈴輪 月森康生 高田博夫 吉岡龍生 神原彌太彦

月例作品出品者２月

役員
○関踏青 ○出田塘葭 ○久保田禾翁 ○重原祥雲 ○早川暁芬 永井龍法 杉本翠女 石原雲木 高嶋満喜 今村菫圃 中野桂鵬 畠穆風 関野羊越 山崎一雄 桃井泰道 田原呉山 木村容庸 南輝代 高野弘深 正和杏葉 水巻游光 遠藤米之人 名倉克彦 村田祥鳳 得永春水 原田恵苑 田澤翠雨 藤田孝風 保田昌石 渡部芳月 稲葉竹葉 串田一逕 梶川久美子

常任委員
○小谷征 ○田中九成 ○竹内立女 ○葭岡慶石 ○瀧七郎 ○木下芳秀 ○國井无髯 ○秋山名華 ○亀尾武彦 ○久野天山 多田学友 馬景泉 浅良朱華 小林尚石 吉田鏡水 丸山蘇碩 大田豊 桑木利一 山本寿法 吉田宗里 岡田桂舟 青黄彪 松田泰軒 小澤博石 奥島艸丘 島蓬舟 篠浦錦風 大槻直佑 長谷川拓石 丸山沙舟 鈴木城山 杉山美華 福本青桐 千田耕翠 大内隆雲 松井翠香 井本敏子 寄田龍神 宮井紅舟 富山希祐 近藤胡蝶 桃睦苑 植田靜雲 石亀堅二郎 太田恵水 丸田拓川 芦野優美子 樋口桃園 奈良林丹露 杉本素月 田中壽江 稲田一穂 城下江暉 劔田白峰 杉山鎌二 尾白正雄 小泉廣津 矢野亀山 森川恵扇 白尾芳雲 川西卯水 湯山幽泉 今西九郁 木村誠二 藤縄尚子 大橋実秋 梶村昇宏 武田草露 古野燕安 亀井芝蘭 倉野看雨 荒崎浄仙 橋本碧峰 内山楽水 榊原龍山 浦本秀洞 村井松雨 加藤静雲 國本松峰 谷口彩雪 河野碧龍 河瀬魚仙 三次松雲 坂正歩 高橋雅子 浅野祥雲 宮本瑞邦 松田泰軒 古瀬章石 増田繁治 大庭景雲 庭田露舟

委員
○岡上汀華 ○中西一系 ○若松一艸 ○服部和代 ○荒川紅絲 ○山内紫泉 ○濱口韻暉 ○松永平峰 ○永井箕山 ○北村斗舟 圓栗利之 森原晋作 前田正陽 吉田融石 田村稲廬 寒谷佐知子 西口叢映 岩井映舟 井本究石 松本弘碩 西谷桜泉 中石象堂 黒石仁 榊原有光 轆忠夫 武友早知子 中野桃華 小堀蒼洋 小西青窓 番定静山 大城容史子 西山進 田中翠景 川栄玉峯 宮野宗雄 岡本碧水 松嶋翠郁 滝口照影 谷川松雲 湯浅栄一 藤本蘇西 小林啓子 立石見聲 佐野哲舟 筒井耕石 石川羊碩 高城玲子 笹倉柳石 伊地美保子 西谷亀石 今井朴仙 小野田眞水 宮越素翠 堀口秀雄 畑間青露 稲垣竹扇 熊木信男 小倉澤陽 宮澤神竹 森津竹仙 笹倉瑞峰 松野久代 伏原準朗 山崎芳園 堤修次 高岡祥鶴 曽原希美 横手幸雄 野崎恒夫 市川桂水 伊田香泉 竹中朴 杉江周作 中野翔龍 小谷敏之 安田邦石 宇於崎碧峯 田原群蛙 国島康成 茶本仙華 菅白峰 平井涛峰 新井碧峰 富山蘭翠 小嶋昌秋 稲葉桂峰 安田佳舟 山口藤華 吉崎雲堂 榊原悠園 筧芳桂 荒川光雲 山田榮山 岩田耕畑 竹内霍山 福島靖浩 木村真澄 安西幸恵 原田圓代 羽田野雪里 和田恵子 松本春石 藤井徳三 福島次郎 今宮翠暉 谷啓子 上田翔雲 山本亮子 池田竹華 青木鐵生 森田時雄

会員
○長谷山墨石 ○内木場八夫 ○安井芳泉 ○小幡青濤 ○小川憲石 ○鈴木翠峰 ○内藤華泉 ○井関碧水 ○小林邦夫 ○荒木昇 荻野胤夫 鈴木誠二 津堅康風 馬場龍二 堀田敬子 須基康恵 森静二 前田秋香 西岡貴美子 岡田郁夫 佐藤幸 石原白磬 吉三友 伊井啓 松山嘉津子 中島敬次 森本翠汀 吉川京子 田辺清 内匠俊夫 加藤辰二 矢吹一清 青木雄山 池谷宝樹 山崎隆平 川端隆一郎 桑島龍二 磯村育治 木村行石 畑温子 酒向誼桂 西峯智永子 金井明子 杉村ひふみ 村手俊彦 山内真波 中村紀久 舟山和雄 永井守 三原大 櫻野美久代 田中良子 中尾恵笙 駒見華山 吉原愛璃 杉本和子 長浜英治 杉山千枝 小嶋瑞碩 永田乾石 田中白瑤 鈴木祐輔 岩崎丹修 生嶋晨空 川久保明 北畑謙一 近藤酔念 佐藤翠龍 大島光洋 大垣内悟道 天海信子 刑部玉水 境山正甫 永井孜黄 田中穂積 堂守唯文 高木哲志 植林和夫 関由紀夫 間宮慎 福谷華紅 平川法禅 平中葭舟 小林空歩 向畑芳翠 滋野草翠 眞壁石峰 川端春峰 宮崎外茂一 木村笙山 前田舫匡 伊藤嘉信 谷幸江 立石雄二 中山孝之 清水信明 丸田岳僊 高橋忠義 藤崎澄子 笹井岳峯 河原静峰 宮下英世 岡田泰導 鈴木龍蹊 小貫剛 中園球恵 粕川真人

一般
○堀梅石 ○土屋功勝 ○大野勝山 ○牛島鈴輪 ○原田泰久 ○石崎公朗 ○板屋智子 ○高田博夫 ○神原彌太彦 ○月森康生 吉田豊 石場渓翠 木谷寿亭 吉岡龍生 小平隆志 早川昭石 長谷部石舟 國枝晃治 宮坂岑生 三井顧了 國江碧翠

月例作品出品者３月

役員
○今村菫圃 ○高野弘深 ○田原呉山 ○高嶋満喜 ○関踏青 正和杏葉 重原祥雲 保田昌石 杉本翠女 梶川久美子 名倉克彦 出田塘葭 山崎一雄 木村容庸 阿部祥廬 南輝代 永井龍法 大橋安泰 石原雲木 早川暁芬 畠穆風 原田恵苑 桃井泰道 串田一逕 村田祥鳳 田澤翠雨 渡部芳月 中野桂鵬 稲葉竹葉 関野羊越 水巻游光 遠藤米之人

常任委員
○浅野祥雲 ○尾白正雄 ○寄田龍神 ○杉本素月 ○小澤博石 ○奥島艸丘 ○古瀬章石 ○國井无髯 ○宮井紅舟 ○松田碧草 庭田露舟 大田豊 大内隆雲 劔田白峰 吉田宗里 村井松雨 武田草露 荒崎浄仙 竹内立女 瀧七郎 松井翠香 丸山沙舟 木下芳秀 浅良朱華 松岡惣雲 千田耕翠 國本松峰 福本青桐 長谷川拓石 稲田一穂 大庭景雲 松田泰軒 青黄彪 大橋実秋 芦野優美子 國方得仙 吉田鏡水 矢野亀山 亀井芝蘭 大槻直佑 榊原龍山 倉野看雨 秋山名華 加藤静雲 瀧上紀雲 樋口桃園 田中壽江 太田恵水 小谷征 浦本秀洞 三次松雲 西口青咲 鈴木城山 丸田拓川 高橋雅子 谷口彩雪 坂正歩 田中九成 宮本瑞邦 石亀明峯 坂崎大雲 内山楽水 城下江暉 水野楽水 藤縄尚子 奈良林丹露 井本敏子 今西九郁 桃睦苑 亀尾武彦 森川恵扇 植田靜雲 梶村昇宏 川西卯水 河瀬魚仙 白尾芳雲 篠浦錦風 多田学友 杉山鎌二 丸山蘇碩 増田繁治 橋本碧峰 富山希祐 葭岡慶石 吉田鏡水 近藤胡蝶 小泉廣津 杉山美華 小林尚石

委員
○森津竹仙 ○武友早知子 ○西口叢映 ○北村斗舟 ○堀口秀雄 ○松永平峰 ○中西一系 ○中野桃華 ○松浦典子 ○西谷桜泉 谷川松雲 松嶋翠郁 野崎恒夫 森田時雄 宮澤神竹 若杉碩水 原田圓代 大泉香華 圓栗利之 今井朴仙 川野朱苑 杉原照楓 筧芳桂 平井涛峰 轆忠夫 野田邦子 森原晋作 曽原希美 永井箕山 高城玲子 熊木信男 服部和代 立石見聲 稲葉桂峰 小堀蒼洋 佐野哲舟 大城容史子 宮越素翠 中野翔龍 番定静山 稲垣竹扇 小倉澤陽 羽田野雪里 田原群蛙 田中翠景 富山蘭翠 伏原準朗 山下直太 川栄玉峯 小林啓子 宮野宗雄 上田翔雲 荒川光雲 青木鐵生 吉田融石 松本弘碩 小野田眞水 古賀京子 池田翠苑 国島康成 池田竹華 山崎芳園 竹中朴 岡上汀華 飯田通敬 岩田耕畑 松野久代 小西青窓 湯浅栄一 前田正陽 中川正陽 曽我雅彦 菅白峰 茶本仙華 黒石仁 山口藤華 関野山玉陵 筒井耕石 伊田香泉 高岡祥鶴 市川桂水 笹倉柳石 和田恵子 長谷屋元斎 今宮翠輝 新井碧峰 小谷敏之 吉崎雲堂 福島靖浩 堤修次 西山進 松本春石 木村真澄 岡本碧水 笹倉瑞峰 荒川紅絲 田山堅 中石象堂 安田佳舟 谷啓子 畑間青露 田村稲廬 高松亮子 竹内霍山 森宮 寒谷佐知子 松江周作 山内紫泉 安西幸恵 柳原悠園 伊地美保子 横手幸雄 藤本蘇西 滝口照影 山本亮子 石川羊碩 佐藤幸 宇於崎碧峯 西谷亀石 山田榮山 福島次郎 岩井映舟 榊原有光 藤井徳三 濱口韻暉

会員
○眞壁石峰 ○三原大 ○伊井啓 ○佐野恵美子 ○仲豊治 ○安井芳泉 ○鈴木翠峰 ○木村行石 ○宮崎外茂一 ○小川憲石 村手俊彦 丸田岳僊 松山嘉津子 藤田紅霞 大井智枝 北畑謙之 岡田郁夫 川端隆一郎 桑島龍三 矢吹一清 小林邦夫 内木場八夫 大垣内悟道 杉山千枝 杉本和子 葛西克己 西岡貴美子 川端春峰 永井守 河原静峰 舟山和雄 中村紀久 岩崎丹修 青木雄山 磯村育治 向畑芳翠 駒見華山 森静二 田辺清 小林江石 鈴木祐輔 森本翠汀 高橋忠義 平井翠菖 中尾恵笙 脇田喜久 堂守唯文 山内真波 山藤雅良 須基康恵 長谷山墨石 吉原愛璃 小林空歩 小林貫次郎 井関碧水 石原白磬 内匠俊夫 益邑隆 中園球恵 高木哲志 生嶋晨空 中嶋秀峰 畑温子 堀田敬子 渡曾俊正 永田乾石 伊藤嘉信 藤崎澄子 小河水雲 田中良子 鈴木誠二 山崎隆平 池谷宝樹 間宮慎 川久保明 櫻野美久代 津堅康風 杉村ひふみ 大島光洋 田中穂積 近藤酔念 前田秋香 吉三友 佐藤直美 関由紀夫 境山正甫 滋野草翠 小貫剛 平川法禅 森俊悟 金井明子 藤本忠義 長浜英治 佐藤翠龍 森原晋作 加藤辰二 荒木彬陽 宮下英世 内藤華泉 小幡青濤 岡田泰導 酒向誼桂 前田舫匡 西峯智永子 北野瓏山 笹井岳峯 植林和夫 清水信昭 粕川真人

一般
○前田秀雄 ○三井顧了 ○國江碧翠 ○長谷部石舟 ○堀梅石 ○山岡まち子 ○宮坂蔬田 ○永井孜黄 ○橘修一 ○金子恵子 原田泰久 石崎公朗 國枝晃治 永田綾子 板屋智子 森井孝昌 刑部玉水 小嶋昌秋 土屋功勝 吉田豊 小平隆志 大野勝山 青山正人 神原彌太彦 吉岡龍生 石場龍生 早川昭石 月森康生 日比畦草

月例作品出品者 4月

役員
○保田昌石　○出田塘葭　○木村容庸　○田澤翠雨　○高嶋満喜　関踏青　今村董圃　南輝代　早川聽芬　名倉克彦　畠穆風　村田祥鳳　阿部祥瀘　原田恵苑　渡部芳月　田原呉山　水巻游光　松本翠女　稲葉竹葉　梶川久美子　遠藤来子人　高野弘深　正和杏葉　重原祥雲　関野羊越　石原雲木　桃井泰道　藤田孝風　得永春水　山崎一雄　堤白遊

常任委員
○竹内立女　○岡田桂舟　○藤原岳風　○梶村昇宏　○桃睦苑　○長谷川拓石　○宮井紅舟　○亀井芝蘭　○田中九成　○松井翠香　各務紅泉　國本松峰　宮本瑞邦　武田草露　村井松雨　庭田露舟　芦野優美子　鈴木城山　植田静雲　杉山美華　龍上紀翠　矢野亀山　谷口彩雪　青黄彪　小谷征　古瀬章石　坂正歩　森川恵扇　浅良朱華　奥島艸丘　近藤胡蝶　瀧七郎　吉田鏡水　富山希祐　丸山蘇碩　田中壽江　白尾芳雲　吉田宗里　橋本碧峰　尾白正雄　水野和香　杉本素月　島蓬舟　鈎田白峰　大槻直佑　福本青桐　増田繁治　木下芳秀　大田豊　多田学友　大田隆雲　井本敏子　小泉廣津　小林尚石　寄田龍神　干田耕翠　杉山錬二　川西卯水　樋口桃園　桑木利一　浅野祥雲　荒崎浄仙　藤縄尚子　内山楽水　倉野看雨　三次松雲　丸山沙舟　小澤博石　葭岡慶石　太田恵水　古野燕安　稲田一穂　浦本秀洞　大橋実秋　丸田拓川　坂崎大雲　秋山名華　石亀明峯　加藤静雲　上野鶴羽　城下江疇　松田碧草　今西九郁　大庭景雲　河瀬魚仙　松田泰軒　篠浦錦鳳

委員
○西口叢映　○鍬守衣英　○武友早知子　○菅白峰　○濱口韶疇　○森原晋作　○松永平峰　○南敏子　○田原群蛙　○佐藤幸　國井无鴦　永井箕山　川野朱苑　笹倉瑞峰　野田邦子　原田園代　筧芳桂　富山蘭翠　畑間青露　湯浅榮一　関野山玉陵　高松亮子　小谷敏之　吉崎雲堂　石留之然　今井朴仙　杉野碧泉　番定静山　山内紫泉　岡上汀華　福島靖浩　滝口照影　大城容史子　小西青窓　服部和代　加藤臥牛　今宮翠鄰　田山堅　新井碧峰　石川羊碩　岩井映舟　川栄玉峯　羽田野雪里　茶本仙華　宮越素翠　中西一系　山田榮山　小林啓子　西山進　竹中朴　糠忠夫　堀口秀雄　岡本碧水　北村斗舟　野崎恒夫　曽原希美　竹村美智子　高岡祥鶴　竹内霍山　曽我雅峰　安西幸恵　上田翔雲　立石見聲　伏原準朗　荒川紅絲　山口藤華　平井涛峰　安田佳舟　中野翔龍　小倉澤陽　笹倉柳石　熊本信男　中石象堂　稲垣竹扇　山崎芳園　木村真澄　西谷亀石　長谷屋元斎　松田高州　松本春石　谷川松雲　松本弘碩　伊地美保子　松浦典子　和田恵子　宮野宗雄　飯田通敬　榊原悠園　松嶋翠郁　市川桂水　福島次郎　前田正陽　藤本蘇西　宮澤神竹　黒石仁　池田竹華　高城玲子　国島康成　小嶋高秋　筒井耕石　谷啓子　堤修次　岩田耕烟　團栗利之　稲葉桂峰　山下直太　大川鳳石　森田時雄　杉原照楓　池田翠苑　横手幸雄　宇於崎碧峯　若杉碩水　杉江周作　西谷桜泉　佐野哲舟　工藤修悦　山本亮子　榊原有光　田中翠景　伊田香泉　安田邦石

会員
○鈴木翠峰　○葛西克己　○安井芳泉　○吉川京子　○村手俊彦　○木村笙山　○小幡青濤　○藤本忠義　○高橋忠義　○木村行石　長谷山墨石　岡田郁夫　鈴木玉峰　森原宏司　佐藤翠龍　森静二　吉三友　磯村育治　鈴木誠三　西岡真美子　高橋沖玄　須基康恵　吉原愛璃　伊井啓　益邑隆　中園球恵　川端隆一郎　田辺清　青木雄山　眞壁石峰　小川憲石　藤田紅霞　池谷宝樹　内藤華泉　近藤酔念　藤崎澄子　永井孜黄　伊藤嘉信　桑島龍三　川端春峰　岡田泰導　宮下英世　前田舫風　宮崎外茂一　間宮慎　刑部玉水　高木哲志　大島光洋　永井守　酒向誼桂　小林空歩　松山嘉津子　滋野草翠　杉本和子　内匠俊夫　荒木彬陽　小林邦夫　井関碧水　森本翠汀　小貫剛　内木場八夫　堂守唯文　三原大　関由紀夫　畑温子　小林江石　中嶋秀峰　脇田善久　鳴川遼華　小河水雲　森俊吾　古在小綽　西峯智永子　菱沼春水　丸田岳僊　小林貢次郎　大井智枝　石原白蓉　鈴木龍蹊　矢吹一清　中島敬次　粕川真人　天海信子　鈴木祐輔　佐藤直美　永田乾石　近者真美　山内真波　田中白瑤　川久保明　舟山和雄　笹井岳峯　水内創哲　清水信明　長浜英治　中山孝之　松岡惣雲　田中良子　金井明子　中尾恵笙　津堅康風　渡曾俊正　平川法禅　中村紀久　櫻野美久代　山崎隆平　馬場龍二　越尾光嶂　仲豊治　堀田敬子　生嶋晨空　植林和夫

一般
○三井顧了　○大野勝山　○石崎公朗　○早川昭石　○土屋功勝　○神原彌太彦　○國江碧翠　○橘修一　○金子恵子　○板屋智子　石場渓州　伊藤博康　森井孝昌　月森康生　青山正人　小平隆志　宮坂菰田　國枝晃治　森清光　前田秀雄　高田博夫　吉田豊　長谷部石舟　荒井典恵　永田綾子　原田泰久　日比畦草

月例作品出品者 5月

役員
○関踏青　○今村董圃　○梶川久美子　○田原呉山　○早川聽芬　村田祥鳳　南輝代　木村容庸　藤田孝風　関野羊越　阿部祥瀘　中野桂鵬　正和杏葉　高嶋満喜　堤白遊　田澤翠雨　名倉克彦　原田恵苑　石原雲木　稲葉竹葉　畠穆風　高野弘深　得永春水　桃井泰道　山崎一雄　重原祥雲　水巻游光　松本翠女　渡部芳月　遠藤来子人

常任委員
○坂正歩　○芦野優美子　○竹内立女　○今西九郁　○亀井芝蘭　○松田泰軒　○大橋実秋　○葭岡慶石　○大田豊　○吉田宗里　田中九成　杉山美華　宮下瑞邦　城下江疇　倉野看雨　湯瀬幽泉　松田碧草　川西卯水　河瀬魚仙　藤縄尚子　白尾芳雲　宮井紅舟　古野燕安　大槻直佑　田中壽江　小泉廣津　亀尾武彦　庭田露舟　古瀬章石　浅良朱華　橋本碧峰　内山楽水　寄田龍神　尾白正雄　稲田一穂　富山希祐　井本敏子　丸山沙舟　多田学友　國方得仙　各務紅泉　桑木利一　國井无鴦　藤原岳風　干田耕翠　龍上紀翠　杉山錬二　桃睦苑　長谷川拓石　大庭景雲　植田静雲　荒崎浄仙　鈎田白峰　樋口桃園　坂崎大雲　矢野亀山　奥島艸丘　近藤胡蝶　木下芳秀　國本松峰　福本青桐　村井松雨　岡田桂舟　水野和香　杉本素月　吉田鏡水　森川恵扇　浅野祥雲　谷口彩雪　浦本秀洞　松井翠香　奈良林丹露　武田草露　大内隆雲　太田恵水　瀧七郎　丸山蘇碩　増田繁治　丸田拓川　石亀明峯　小谷征　青黄彪

委員
○武友早知子　○野田邦子　○服部和代　○大城容史子　○植田静雲　○中村爛　○木村真澄　○石留之然　○市川桂水　○森原晋作　野崎恒夫　西山進　加藤臥牛　伏原準朗　竹村美智子　山口藤華　岩井映舟　石川羊碩　中野桃華　竹内霍山　高岡祥鶴　番定静山　濱口韶疇　平井涛峰　湯浅榮一　田山堅　鍬守衣英　荒川紅絲　南敏子　笹倉瑞峰　宇於崎碧峯　永井箕山　宮野宗雄　中石象堂　大川鳳石　杉原照楓　川野朱苑　中西一系　藤井浩　小倉澤陽　岡上汀華　原田園代　小谷敏之　宮澤神竹　曽原希美　佐野哲舟　滝口照影　田原群蛙　安部邦石　川栄玉峯　羽田野雪里　安田佳舟　田中翠景　岡本祐　小西青窓　松田高州　宮城素翠　松永平峰　笹倉柳石　富山蘭翠　小堀蒼洋　松嶋翠郁　松野碧泉　團栗利之　森田時雄　国島康成　吉崎雲堂　新井碧峰　筧芳桂　谷川松雲　北村斗舟　前田正陽　山田榮山　今宮翠鄰　稲葉桂峰　堀口秀雄　糠忠夫　松本弘碩　池田竹華　立石見聲　黒石仁　谷啓子　中川修陽　堤浮生　畑間青露　西口叢映　小林啓子　岡本碧水　青木鐵生　藤本蘇西　高松亮子　伊地美保子　稲垣竹扇　池田翠苑　山崎芳園　山下直太　和田恵子　岩田耕烟　筒井耕石　今井朴仙　西谷桜泉　佐藤幸　菅白峰　榊原悠園　熊木信男　若杉碩水　福島次郎　関野山玉陵　竹中朴　山本亮子　山内紫泉　藤井徳三　茶本仙華　飯田通敬　榊原有光　小嶋昌秋　西谷亀石　高城玲子

会員
○永田乾石　○葛西克己　○矢吹一清　○三原大　○小河水雲　○山内真波　○永井守　○渡曾俊正　○間宮慎　○櫻野美久代　佐藤翠龍　川端春峰　荻野蒼雲　杉本和子　藤本忠義　中園球恵　西岡貴美子　田中良子　山崎隆平　鈴木祐輔　清水信明　須基康恵　石原白蓉　脇田善久　森本翠汀　荒木彬陽　中島敬次　小貫剛　大井智枝　平川法禅　山口勝義　小幡青濤　松山嘉津子　佐藤直美　松室絹代　鈴木玉峰　小林邦夫　田中穂積　吉三友　田中白瑤　高木哲志　長浜英治　生嶋晨空　川久保明　津堅康風　中村紀久　水内創哲　中尾恵笙　内藤華泉　仲豊治　桑島龍三　池谷宝樹　小林空歩　鈴木翠峰　鈴木誠二　藤崎澄子　青木雄山　岡田郁夫　井関碧水　天海信子　益邑隆　村手俊彦　磯村育治　滋野草翠　笹井岳峯　菱沼春水　木村笙山　小川憲石　藤田紅霞　高橋忠義　近藤酔念　近者真美　田辺清　川端隆一郎　畑温子　伊藤嘉信　小嶋瑞碩　木村行石　森俊吾　高橋沖玄　内木場八夫　山藤雅良　植林和夫　加藤辰二　岡田泰道　森静二　宮澤神竹　永井孜黄　中山孝之　小林貢次郎　酒向誼桂　森原宏司　舟山和雄　眞壁石峰　粕川真人　金井明子　吉原愛璃　鈴木龍蹊　内匠俊夫　鳴川遼華　加藤清城　西野克衛　中嶋秀峰　松田仰風　安井芳泉　堀田敬子　堂守唯文　関由紀夫

一般
○大野勝山　○國江碧翠　○土屋功勝　○篠浦錦鳳　○長谷山墨石　○宮坂菰田　○吉田豊　○早川昭石　○青山正人　○月森康生　荒井典恵　高田博夫　永田綾子　森井孝昌　石崎公朗　神原彌太彦　小平隆志　前田秀雄　板屋智子　橘修一　伊藤博康　國枝晃治　原田泰久　長谷部石舟　境山正甫　刑部玉水

月例作品出品者 6月

役員
○関踏青　○原田恵苑　○松本翠女　○田澤翠雨　○重原祥雲　関野羊越　藤田孝風　水巻游光　遠藤来子人　今村董圃　得永春水　田原呉山　稲葉竹葉　畠穆風　早川聽芬　正和杏葉　石原雲木　渡部芳月　高野弘深　木村容庸　名倉克彦　山崎一雄　高嶋満喜　南輝代　桃井泰道

常任委員
○竹内立女　○亀井芝蘭　○長谷川拓石　○田中九成　○福本青桐　○藤原岳風　○宮本瑞邦　○桑木利一　○大橋実秋　○芦野優美子　國方得仙　龍上紀翠　庭田露舟　宮井紅舟　松井翠香　岡田桂舟　大槻直佑　近藤胡蝶　白尾芳雲　小澤博石　水野和香　橋本碧峰　小谷征　大田隆雲　桃睦苑　亀尾武彦　植田静雲　松田泰軒　葭岡慶石　杉山美華　古野燕安　富山希祐　古瀬章石　木下芳秀　杉本素月　石亀明峯　森川恵扇　樋口桃園　増田繁治　矢野亀山　川西卯水　稲田一穂　城下江疇　村井松雨　秋山名華　大庭景雲　浅良朱華　久野天山　吉田鏡水　大田豊　奥島艸丘　寄田龍神　小泉廣津　藤尾尚子　今西九郁　鈎田白峰　松田碧草　河瀬魚仙　伊藤桃山　井本敏子　湯瀬幽泉　尾白正雄　丸山沙舟　篠浦錦鳳　倉野看雨　吉田宗里　坂正歩　鈴木城山　谷口彩雪　國井无鴦　杉山錬二　坂崎大雲　浦本秀洞　丸山蘇碩　瀧七郎　武田草露　荒崎浄仙　干田耕翠　太田恵水　内山楽水　青黄彪　丸田拓川

委員
○平井涛峰　○森津竹僊　○畑間青露　○杉原照楓　○笹倉瑞峰　○上田翔雲　○石留之然　○湯浅榮一　○竹村美智子　○山下直太　稲葉桂峰　杉江周作　前田正陽　西口叢映　山内紫泉　西山進　野崎恒夫　新井碧峰　木村真澄　永井箕山　熊木信男　山田榮山　番定静山　濱口韶疇　谷川松雲　加藤臥牛　岡上汀華　宮野宗雄　稲垣竹扇　今井朴仙　小堀蒼洋　笹倉柳石　伊地美保子　吉崎雲堂　岩井映舟　松永平峰　茶本仙華　筧芳桂　岩田耕烟　南敏子　黒石仁　飯田通敬　西谷亀石　西谷桜泉　真田雅好　山口藤華　小嶋昌秋　伏原準朗　中石象堂　武友早知子　團栗利之　市川桂水　荒川紅絲　大城容史子　古賀京子　中野桃華　立石見聲　森原晋作　小倉澤陽　松田高州　安西幸恵　堀口秀雄　小林空歩　山本亮子　池田竹華　高岡祥鶴　高松亮子　松嶋翠郁　川栄玉峯　曽原希美　服部和代　羽田野雪里　小林啓子　石川羊碩　高城玲子　菅白峰　田原群蛙　安田佳舟　竹内霍山　山崎芳園　宮澤神竹　伊田香泉　佐藤幸　小谷敏之　小西青窓　北村斗舟　滝口照影　田中翠景　富山蘭翠　佐野哲舟　国島康成　宇於崎碧峯　安田邦石　糠忠夫　野田邦子　今宮翠鄰　和田恵子　池田翠苑　松本春石　谷啓子　原田園代　竹中朴　榊原悠園　松本弘碩　横手幸雄　関野山玉陵　福島次郎　長谷屋元斎　大川鳳石　宮越素翠　中西一系　松野碧泉　川野朱苑　榊原有光

会員
○青木雄山　○荒井典恵　○岡田郁夫　○鈴木玉峰　○田中良子　○津堅康風　○鳴川遼華　○西岡貴美子　○藤崎澄子　○宮崎外茂一　荒木彬陽　青山正人　池谷宝樹　石原白蓉　井関碧水　伊藤嘉信　井上江洲　磯村育治　生嶋晨空　内木場八夫　内匠俊夫　大井智枝　大島光洋　小河水雲　小川憲石　岡田泰道　荻野蒼雲　小幡青濤　小貫剛　金井明子　金子恵子　粕川真人　櫻野美久代　川久保明　川端春峰　木村笙山　木村行石　小嶋瑞碩　小平隆志　小林邦夫　小林貢次郎　古在小綽　桑島龍三　近藤酔念　酒向誼桂　笹井岳峯　佐藤直美　佐野貴美子　佐藤翠龍　境山正甫　滋野草翠　清水信明　杉村ひふみ　杉本和子　鈴木翠峰　鈴木誠二　鈴木祐輔　鈴木龍蹊　須基康恵　高木哲志　高田博夫　高橋忠義　田中穂積　田中白瑤　立石雄二　田辺清　橘修一　月森康生　土屋功勝　堂守唯文　渡曾俊正　富岡教行　内藤華泉　仲豊治　永井孜黄　永井守　中尾恵笙　中島敬次　中嶋秀峰　長浜英治　中村紀久　中園球恵　永田綾子　永田乾石　中山孝之　長谷山墨石　福島靖浩　藤田紅霞　藤田忠義　舟山和雄　前田秀雄　眞壁石峰　正木康夫　松田仰風　松本倫子　松室絹代　益邑隆　間宮慎　丸田岳僊　前田舫厓　松山嘉津子　水内創哲　三原大　宮下英世　森静二　森俊吾　森井孝昌　森本翠汀　森原宏司　畑温子　馬場穆風　平川法禅　堀田敬子　安井芳泉　山内真波　山崎隆平　山口勝義　山村ひろみ　矢吹一清　吉三友　吉原愛璃　脇田善久　葛西克己

一般
○三井顧了　○國江碧翠　○原田泰久　○國枝晃治　○早川昭石　○神原彌太彦　○板屋智子　○本嶋幸子　○古田衛　○石崎公朗　宮坂菰田　吉田豊　吉岡龍生　伊藤博康　安喰冬雲　長谷部石舟　石場渓州　須田桃苑

茨城県古河市の篆刻美術館で「第一回日本篆刻家協会展」を開催

会場内陳列のようす

開幕式に近隣をはじめ広く関東一円から大勢の会員等が参加

かねてから出品要請のあった茨城県古河市の篆刻美術館での、関東地域で初となる、日本篆刻家協会による作品展が実現した。展覧会は日本篆刻家協会・古河篆刻美術館が共催し平成二十一年六月二十七日から七月二十三日の会期で同篆刻美術館第三・四・五展示室を会場に開催された。理事長以下監事までと関東甲信越地区評議員の役員の作品計六十五点が展示された。毎年同時期に継続開催したいとの古河市の意向から「第一回日本篆刻家協会展」の展覧会名となった。

六月二十七日午後一時三十分から開幕式が会場前で開催され、正副理事長、代表理事をはじめ関東在住の会員、古河市の関係者約五十人が出席した。当協会山下方亭理事長、古河市教育委員会遠藤道夫教育長が挨拶の後、テープカットで展覧会はオープンされた。会場には半切（評議員は半切1／2）の軸装作品が隙間なく陳列されていた。同美術館では今まで、篆刻作品は印影のみの小さい額ばかりの展示であったようで、地元の観客は「大きさもあり、書画を伴う文人的雰囲気の作品に新鮮さを感じうれしい」と感想を話していた。

テープカットする代表（左から井谷副理事長、山下理事長、遠藤教育長、尾崎副理事長）

開幕式であいさつする共催の古河市教育委員会遠藤教育長

引き続き、関東の三印社（杏壇、東方、館山）の合同研修会が近隣のホテルで開催され、山下理事長、井谷副理事長、酒居・真鍋代表理事が講師を務めた。終了後同所で古河市の関係者を交えて懇親と祝いの小宴がもたれた。

合同研修会で指導する真鍋・酒居代表理事

合同研修会で講演する山下理事長

山下方亭理事長
西泠印社名誉理事証書授受の報告

紅い生地に白の文字の「山下方亭先生西泠印社名誉理事就任記念祝賀会」の横断幕がひときわ映える祝賀会会場。六月八日夕刻、杭州市の維景国際大酒店での祝賀会には、西泠印社副社長劉江先生、名誉副社長呂国璋先生、理事の余正、張耕源、桑建華先生、事務局王臻先生に臨席いただいた。山下先生は劉江先生から「西泠印社名誉理事証書」を授与された。

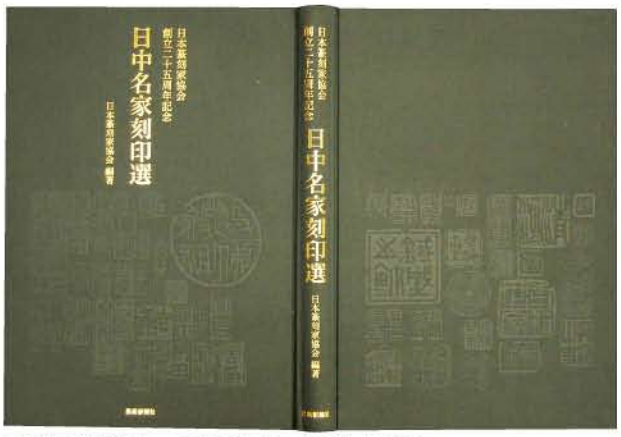
劉江先生は「梅先生との交流を懐かしく思い出します。山下先生と初めてお会いしたのは梅先生に同行して来られた時、今も覚えています。とても若くてハンサムだった、その頃からの長い付き合いです。大切に保管している山下先生製作の印を見る度に山下先生を思い出していました。自分は年をとった。これからは若い人に任せたい。日本篆刻家協会も理事長の山下先生を中心とした若い力で頑張って欲しい。」と祝辞を述べられた。山下先生はお礼の言葉の中で「今後、日本篆刻家協会の会員の中から西泠印社名誉理事、名誉社員が次々生まれることを望みます。」と挨拶された。

呂国璋先生の乾杯で始まった宴も和気藹々のうちにお開き。劉江先生、呂国璋先生の席書が行われ、劉江先生は「山下方亭研印学、隨風而上揚全球」と賀聯を書いてくださった。山下先生感激のひとこま。記念撮影をして今回の訪中のメインイベントが終了した。十三年前平成八年春、山下先生の名誉社員就任記念の訪中が甦る。

（記念訪中団秘書長　中村葉舟 記）

劉江氏（右）から名誉理事証書を授与される山下理事長.

会員の皆さんへ
―「日中名家刻印選」を受領されましたか？―



日本篆刻家協会創立２５周年記念出版の「日中名家刻印選」

当協会創立二十五周年の記念出版として刊行された「日中名家刻印選」を、在籍の会員に贈呈するべく六月中旬に発送しました。一部で受取拒否の方がありましたが、発送人が協会になっていなかったことが原因でした。当協会の情報が会員各位に伝わっていない例になってしまい、不手際をお詫びいたします。同時期に別に発送した「第二十五回日本篆刻展作品集」は協会の封筒で「日篆協活動のしおり」と共に送りましたので、全ての会員に届いたと思われます。

―今年度の会費納入のご確認を―

本年の会費未納者には送っておりません。本年度の会費の納入をお願いします。納入され次第、記念出版の「日中名家刻印選」と「第二十五回日本篆刻展作品集」を送付します。（会費の納入状況については印社代表に一覧表を入れています。）本年から会員に直接お届けする方式としましたので全会員同時にお届けできました。今後はこの個人発送方式で協会と会員個人が繋がります。ご協力をお願いします。

―「日篆協のしおり」の活用を―

初めて協会の活動を紹介するしおりができました。協会の活動の一から十までを詳しく紹介しています。「活動のしおり」には二十五年の活動が掲載されています。篆刻に興味のある方には皆さんから協会組織の問い合わせや質問に応え、会員皆様から積極的に宣伝してください。

なお、「しおり」の追加が必要な方は協会事務所にご連絡いただければお送りいたします。

協会で月例作品募集（二〇一〇年）

- 一月…富貴
  出展【論語】
  意味 家が富んで身分が高いこと
- 二月…学無止境
  出展【明・魏裔介】
  意味 学問の道には終わりが無いこと
- 三月…随處楽
  出展【宋・陸游】
  意味 いたるところで楽しむ
- 四月…虚室生白
  出展【荘子】
  意味 がらんとした部屋に日光が射しこんで、自然に明るくなる
- 五月…墨趣
  出展【元・鄭元祐】
  意味 書画への趣味
- 六月…執事敬
  出展【論語】
  意味 仕事を行なうときは慎重にする
- 七月…長令宇宙新
  出展【唐・杜甫】
  意味 永久に天下を清新なものにする政治をしてもらいたいものだ
- 八月…守以静
  出展【唐・韓愈】
  意味 心を守るのに静を以ってすること
- 九月…三省
  出展【論語】
  意味 日に三たび反省すること
- 十月…長生安楽
  出展【唐・李筌】
  意味 長生きでのんびりと楽しむこと
- 十一月…祥雲
  出展【北周・庾信】
  意味 めでたいときにあらわれる雲
- 十二月…辛卯
  二〇一一年の干支

規定と送り先

印の大きさ
一寸以内

締　切
各月末日消印有効

用　紙
半紙半截（篆社印箋使用可）に
左記六点をご記入ください。
①月
②課題名
③印社名
④協会資格（日本篆刻展出品資格）
⑤氏名
⑥会員コード
（一般の方は一般と記入。会員の方で空白の場合、一般となります。ご注意ください。）

送り先
〒五六三―〇〇三二
池田市石橋二丁目二―一〇
牧野ビル二〇三号
日本篆刻家協会　月例作品係 宛

多数の出品をいただき
ありがとうございます
出品作品整理の上から
次の二点を
再度確認ください

① 協会資格・会員ＣＤ（コードナンバー）を必ず記入し空欄にしないこと。
（一般公募は資格欄に一般を記入）

② 協会資格は本年度中は変わらないこと。（平成二十二年一月から昇格）
規定どおりでない作品は審査対象になりませんのでくれぐれもご注意ください。

―資料提供のお願い―

協会二十五年を機に沿革・記録・写真等を整理のため、会員各位のお手許のメモ・印刷物・写真等資料をお貸しください。ご提供いただける資料があれば事務所にご一報くださるようお願いいたします。

第一回展会場入口 1985/6/27～7/2 大阪駅前第二ビル２Ｆ アートプラザ

上海・大阪篆刻交流展開幕式　1986/11/8 上海美術展覧館

展覧会の案内と報告

▼清友篆会（坂本舜華）
第一一回 清友篆刻展
会期　一〇月一日～四日
会場　芦屋市　俵美術館　ギャラリー俵

▼不華篆会（酒居石荘）
不華篆会習作展Ⅹ Ⅶ－デザインとして見る篆刻の展開－
会期　一〇月二日～四日
会場　伊丹市立工芸センター
同七日～一二日に丹波市で巡回展

▼畦石舎（小朴圃）
第二四回 畦石舎作品展
会期　一〇月三日～五日
会場　京都市日図デザイン博物館

▼齊平篆会（眞鍋井蛙）
第一二回 齊平展
会期　一〇月九日～一一日
会場　大阪くらしの今昔館

▼遠邇篆会（伊藤雅夫）
第一八回 社中展
会期　一一月一〇日～一五日
会場　クリエート浜松三階

▼創象篆会（玉木水象）
創象篆会篆刻展
会期　一一月一七日～二三日
会場　高松放送局（ふれあいギャラリー）

▼蒼文篆会（尾崎蒼石）
第一三回 蒼文篆会展
会期　一一月二七日～二九日
会場　大阪美術倶楽部新館

会員個展

▼黄平齋書法篆刻作品展
会期　一〇月三〇日～一一月四日
会場　中国杭州市 西泠印社（中国印学博物館）

展覧会報告

▼隨風會（山下方亭）
第二四回 隨風會篆刻展
―山下方亭西泠印社名誉理事就任記念―西泠印社の人々展―特別陳列古代中国のやきもの
会期　三月三一日～四月五日
会場　京都市美術館
出品者九七人 総展示数二〇一点 入場者二〇九五人

▼越思篆会（大村高陵）
第二八回 越思篆会作品展
会期　四月二四日～二六日
会場　高岡文化ホール

▼篆鐫社（古溝幽畦）
游於藝展
会期　五月二八日～六月二日
会場　兵庫県学校厚生会館　アートホール神戸

▼墨楽印社（黄平齋）
静岡篆刻二〇人展
会期　六月一一日～六月一六日
会場　藍画廊

▼寧和印会（喜多芳邑）
第五回 寧和展
会期　六月二四日～二八日
会場　奈良県文化会館
「遷都一三〇〇年に際して」をテーマに二七人が出品

▼一隅會（池田泥翼・喜多芳邑・黒田玉洲・南岳杲霊・古溝幽畦）
第一七回 一隅會展
会期　六月二四日～二八日
会場　奈良県文化会館
寧和展と合同開催　入場者数八〇〇余人

▼北庄篆会（多田龍洲）
第三三回 北庄篆会展―特別展覧石印材―
会期　六月二五日～二八日
会場　福井県立美術館

▼淡味篆会（南岳杲霊）
淡味篆会展二〇〇九
会期　七月三日～七日
会場　神戸市立こうべまちづくり会館

▼馬景泉来日二〇周年篆刻展
会期　六月一三日～一九日
会場　江戸川区総合文化センター
総展示数一三〇〇点（軸・巻子）入場者一二〇〇人

協会の行事

第二回 理事会・平成二一年度総会
講演会（『漢代の書』牛丸好一先生）・**懇親会**
二月一五日(日)グリーンヒルホテル明石

審査準備会・第二回 企画委員会
三月二七日(金)大阪市中央会館

第二五回展審査会
三月二八日(土)大阪市中央会館

第二五回展作品搬入陳列
五月一八日(月)大阪市立美術館

第二五回 日本篆刻展
五月一九日(火)～二四日(日)大阪市立美術館地下展覧会室

第三回 企画委員会
五月二三日(土)ホテル大阪ベイタワー

授賞式・創立二五周年記念セレモニー
五月二四日(日)ホテル大阪ベイタワー

第二五回展作品搬出
五月二五日(月)大阪市立美術館

地方展「第一回 日本篆刻家協会展」
六月二七日(土)～七月二三日(木)古河市立篆刻美術館

第四回 企画委員会
七月四日(土)大阪錦城閣

第二回 中央研究会
八月八日(土)～一〇日(月)シーサイドホテル舞子ビラ神戸

創立二五周年記念特別講演会『**説文解字**』
講師 島根大学教授　福田哲之 先生
八月九日(日)シーサイドホテル舞子ビラ神戸

予定

海外交流
中国芸術院篆刻芸術院との交流展を北京市で開催

訪中団派遣
一〇月二八日(水)～一一月一日(日)

常務理事会
一一月二八日(土)事務所

新年会
平成二二年一月一七日(日)大阪錦城閣

編集後記

☆一部で早々に明けた今年の梅雨も全国的には長引いています。以前からも梅雨の末期に、時々災害を引き起こしておりました。ここ最近は毎年のように記録的豪雨の表現が新聞に載り、今年も残念ながら中国、九州地方で大きな災害が発生しました。言われているように地球温暖化による気候変動でしょうか。京都議定書の次の枠組みについて国際会議が開かれても、各国の思惑が入り組んでなかなかまとまりそうにありません。今からでも、皆で一人一人がエコに取り組めば少しでも食い止められるのではないでしょうか。

☆月例作品に多くの応募をいただきました。ごく一部しかご紹介できませんが、会員の篆刻に対する熱意を感じるとともに向上に資することができれば幸いです。

☆まだまだ不備な点もありますが、今後とも改善を重ねて協会の動きが全会員に伝わるように努力してまいります。お気づきのことご意見など事務所までお寄せください。

FAX: 072-760-3853
MAIL: tenkoku@river.ocn.ne.jp

編集：会報部
酒居石荘　邊見彷厓　南岳杲霊
榊原晴夫　木村容庸　内田真弓